

## 特 許 記 事

### 工具鋼

特公・昭41-17441 (公告・昭41-10-4) 出願: 昭35-1-25, 発明: 町英夫, 出願: 不二越鋼材工業(株)

### 球形炉頂を有する熱風炉

特公・昭41-17723 (公告・昭41-10-11) 出願: 昭39-1-29, 発明: 西田佐一, 吉岡正生, 内山晴喜, 出願: 八幡製鉄(株)

### 熱風炉の操業方法

特公・昭41-17724 (公告・昭41-10-11) 出願: 昭39-2-8, 発明: 田島治, 宮下恒雄, 辻本嘉伸, 坪井邦夫 出願: 日本鋼管(株)

### 金属の表面処理法

特公・昭41-17730 (公告・昭41-10-11) 出願: 昭39-1-20, 発明: 宇賀神光二, 出願: 三菱江戸川化学(株)

### 溶鉱炉における出銑樋設備

特公・昭41-17842 (公告・昭41-10-12) 出願: 昭39-3-2, 発明: 田丸博人, 出願: (株) 神戸製鋼所

### 炉の羽口

特公・昭41-17961 (公告・昭41-10-14) 出願: 昭39-10-27, 優先権: 1964-3-18(イギリス), 11372/64, 発明: ドナルド・マウルズ, 出願: スタントン・エンド・スタビリー・リミテッド

### 蒸着装置

特公・昭41-18082 (公告・昭41-10-18) 出願: 昭39-8-14, 発明: 尾木斉, 石川房吉, 出願: 国際電気(株)

### 溶融金属の攪拌および真空脱ガス装置

特公・昭41-18202 (公告・昭41-10-19) 出願: 昭40-7-15, 優先権: 1964-9-15 (アメリカ) 396670, 発明: セオドア・ルーズベルト・ケネディ, ケンドリック・キャッシュマン・テラー, 出願: ペンサルト・ケミカルス・コーポレーション

### 遊星圧延機の運転法ならびにその装置

特公・昭41-18205 (公告・昭41-10-19) 出願: 昭40-3-5, 発明: 小栗富士雄, 出願: 石川島播磨重工業(株), 大同製鋼(株)

### 鋼材の連続圧延装置列

特公・昭41-18207 (公告・昭41-10-19) 出願: 昭40-2-13, 発明: 吉野山太, 岸川官一, 田中克佳, 出願: 八幡製鉄(株)

### ストリップ幅方向形状調整装置

特公・昭41-18210 (公告・昭41-10-19) 出願: 昭40-4-2, 発明: 谷章一, 松本健三, 出願: 八幡製鉄(株)

### 電解加工方法および装置

特公・昭41-18325 (公告・昭41-10-21) 出願: 昭37-7-30, 発明: 井上潔, 出願: ジャパックス(株)

### 電解加工装置

特公・昭41-18326 (公告・昭41-10-21) 出願: 昭38-3-19, 発明: 井上潔, 出願: ジャパックス(株)

### 電解加工装置

特公・昭41-18327 (公告・昭41-10-21) 出願: 昭38

-5-20, 発明: 井上潔, 出願: ジャパックス(株)

### 電解加工方法

特公・昭41-18487 (公告・昭41-10-24) 出願: 昭38-6-27, 発明: 井上潔, 出願: ジャパックス(株)

### 電解加工法

特公・昭41-18488 (公告・昭41-10-24) 出願: 昭38-8-15, 発明: 井上潔, 出願: ジャパックス(株)

### 金属表面処理法

特公・昭41-18566 (公告・昭41-10-26) 出願: 昭37-2-12, 優先権: 1961-2-14 (アメリカ) 89116, 発明: サルバトア・アルファノ, 出願: チャールス・ファイザー・エンドコムパニー・インコーポレーテッド

### 高温熔融処理炉の冷却法

特公・昭41-18681 (公告・昭41-10-28) 出願: 昭38-10-16, 発明: 辻畑敬治, 沢田保弘, 出願: 八幡製鉄(株)

### 混鉄炉出銑口蓋の自動開閉装置

特公・昭41-18682 (公告・昭41-10-28) 出願: 昭38-9-30, 発明: 齊藤忠文, 出願: 川崎重工業(株)

### 密閉式電気炉におけるガス捕集装置

特公・昭41-18683 (公告・昭41-10-28) 出願: 昭38-7-24, 発明: 下村友一, 奥野正雄, 丸山和美, 出願: 日本鋼管(株)

### 鑄 型

特公・昭41-18685 (公告・昭41-10-28) 出願: 昭38-11-26, 発明出願: 中村武夫

### 移動式炉体を使用する転炉操業法

特公・昭41-18921 (公告・昭41-11-1) 出願: 昭39-4-22, 発明: 田上豊助, 池田隆果, 出願: 住友金属工業(株)

### 純酸素上吹転炉用酸素ランスの取替え方法

特公・昭41-18922 (公告・昭41-11-1) 出願: 昭39-4-21, 発明: 熊井浩, 三田重雄, 出願: 富士製鉄(株)

### 転炉出鋼時の溶滓除去装置

特公・昭41-18923 (公告・昭41-11-1) 出願: 昭39-4-15, 発明: 八木正文, 出願: 川崎重工業(株)

### 複数列連続鑄造用金型

特公・昭41-18928 (公告・昭41-11-1) 出願: 昭39-3-23, 優先権: 1963-3-26(ドイツ) M56260, 発明: ハンス・シュリュエエ, 出願: マンネスマン・アクチェンゲゼルシャフト

### 連続鑄造法および装置

特公・昭41-18929 (公告・昭41-11-1) 出願: 昭39-5-11, 発明: 西川誠治, 高津敏明, 出願: 三菱重工業(株)

### 電解加工法

特公・昭41-19169 (公告・昭41-11-7) 出願: 昭39-8-28, 発明: 御子柴佑恭, 石沢進午, 堀栄一, 出願: (株) 日立製作所

### 電解加工装置

特公・昭41-19170 (公告・昭41-11-7) 出願: 昭39-11-5, 発明出願: 元木幹雄

#### 鋼の球状化焼鈍のための予備処理法

特公・昭41-19283 (公告・昭41-11-9) 出願: 昭39-11-21, 発明: 浅田千秋, 出願: 大同製鋼(株)

#### 圧延スタンド

特公・昭41-19288 (公告・昭41-11-9) 出願: 昭40-4-23, 優先権: 1964-4-23(ドイツ) V25869, 発明: カール・ノイマン, 出願: フェルヴァルツングスゲゼルシャフト・メラエ・ウント・ノイマンオフエネ・ハンデルスゲゼルシャフト

#### 熱間連続圧延ストリップの冷却装置

特公・昭41-19291 (公告・昭41-11-9) 出願: 昭38-10-3, 発明: 谷幸男, 野間吉之介, 出願: 日本鋼管(株)

#### 圧延機

特公・昭41-19326 (公告・昭41-11-9) 出願: 昭40-6-1, 優先権: 1964-6-4(イギリス) 23286/64, 発明: ジェレミア・ワグナー・オブライエン, 出願: ユナイテッド・エンジニアリング・アンド・ファンドリー・コムパニー

#### 圧延機

特公・昭41-19327 (公告・昭41-11-9) 出願: 昭40-

7-15, 優先権: 1965-5-18(アメリカ) 456745, 発明: ケネス・ラルフ・コンフォア, デビッド・ヒュー・サムソン, 出願: ドミニオン・ファンドリース・アンド・スチール・リミテッド

#### 電解加工方法

特公・昭41-19881 (公告・昭41-11-18) 出願: 昭38-2-5, 発明: 井上潔, 出願: ジャパックス(株)

#### 電解加工法

特公・昭41-20203 (公告・昭41-11-25) 出願: 昭39-1-29, 発明: 川船和儀, 出願: (株)日立製作所

#### 電解加工法

特公・昭41-20204 (公告・昭41-11-25) 出願: 昭39-1-29, 発明: 川船和儀, 出願: (株)日立製作所

#### 電解加工装置

特公・昭41-20205 (公告・昭41-11-25) 出願: 昭39-3-11, 発明: 御子柴佑恭, 鈴木靖夫, 石沢進午, 出願: (株)日立製作所

#### 電解加工法および装置

特公・昭41-20206 (公告・昭41-11-25) 出願: 昭39-4-9, 発明: 堀栄一, 御子柴佑恭, 石沢進午, 鈴木靖夫, 出願: (株)日立製作所

## 書 評

### De Ferri Metallographia II

著者 Angelica SCHRADER and Adolf ROSE

“De Ferri Metallographia I”における金属組織学の基礎にひきつづき工業的に重要な鉄鋼の顕微鏡組織写真を約 1300 枚集めて整理し、独、英および仏語で解説したものである。第 1 章では鋼種およびその組織の選択を、第 2 章では研磨およびエッチング法、電子顕微鏡観察のためのレプリカ法について概説している。第 3 章ではフェライト、パーライトおよびセメンタイトの量比におよぼす C 含量の影響、組織要素の外観、組織への変態条件の影響、中間段階の組織 (ベイナイト)、マルテンサイトの焼戻し過程中的組織変化、一般構造用鋼および快削鋼について解説している。さらに第 4 章では合金鋼の連続冷却、等温変態、焼入れ、焼戻し調質後の組織および高温で長時間応力をかけた後の組織変化、ならびに鋼中の Si, Mn, Mo, Cr, Ni あるいは W など合金元素が組織に与える特有の影響を述べている。そして第 3 章および第 4 章のそれぞれに対応した代表的組織写真がその概説とともに集録されており、その約 1/3 は電子顕微鏡写真である。なお鑄造組織および加工組織は“De Ferri Metallographia I”に掲載してある。

金属組織学の発達が鉄鋼自体の発達にくらべて不完全なために、本書は鉄鋼組織についての最終的評価を与えるものではないが、光学顕微鏡から電子顕微鏡一回折への急速な進歩がすでに開始されている現在、前進する前に今の位置を評価することが必要である。以上要するに本書は研究者にとつても、また鉄鋼メーカーや使用者にとつても有益な助けとなるであろう。

(中山忠行)

(A 4 判, 560 ページ, 出版社: Verlag Stalisen m.b.H., Düsseldorf, 1966)